

モルテンカップ平成27年度広島県高等学校秋季バスケットボール大会 第46回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会

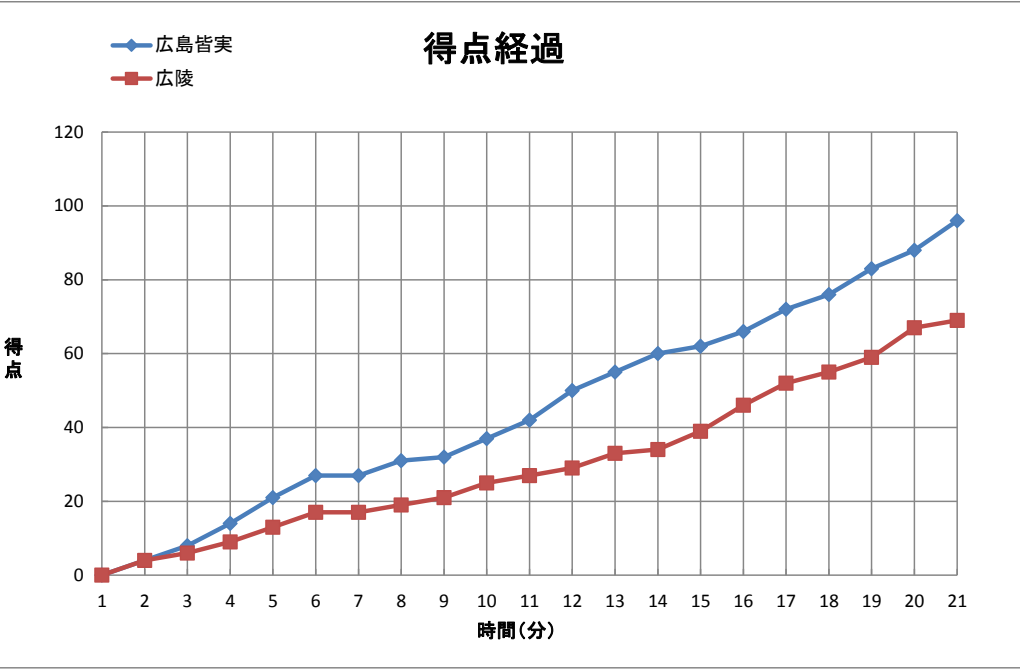
試 合 日	2015年10月24日
開始時間	13:40
会 場	広島県立総合体育館 アアリーナ
コ ー ト	0
試 合 順	2

Team A		27	-	17		Team B
		15	-	10		
広島皆実	96	24	-	19	69	広陵
		30	-	23		
(0)			-			(0)

Team A 広島皆実																		
No.	S	選 手 名	PTS	3 P		2 P		F T		F	REBOUND			TO	AS	ST	BS	PT
				成功	試投	成功	試投	成功	試投		OR	DR	TOT					
4		濱川 優	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	2	3	1	0	9:18
5	*	江尻 駿也	18	0	0	7	20	4	6	2	1	12	13	1	5	0	0	40:00
6		島田 未月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0:14
7		林 聡洋	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0:14
8	*	伊森 響一郎	32	5	14	8	13	1	2	2	1	3	4	2	3	0	3	39:52
9		国広 祐司	0	0	0	0	2	0	0	1	0	1	1	0	1	1	0	13:28
10		天野 優太	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
11		森田 雅也	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0:14
12	*	倉富 チアゴ	12	0	0	6	10	0	0	4	5	11	16	1	1	0	1	37:19
13		景山 瑛登	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
14		大道 拓将	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
15		新井 泰斗	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0:47
16	*	小川 俊哉	26	1	6	6	15	11	12	2	3	4	7	3	2	2	1	30:36
17	*	原 未来斗	6	1	1	1	5	1	2	5	0	1	1	4	1	0	0	26:18
18		深渡瀬 海	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1:40
Team / Coach		藤井 貴康								0	0	4	4	1				
合 計			96	7	21	29	66	17	24	16	11	36	47	14	16	4	5	200
			RATE	33.3%		43.9%		70.8%										

Team B 広陵																			
No.	S	選 手 名	PTS	3 P		2 P		F T		F	REBOUND			TO	AS	ST	BS	PT	
				成功	試投	成功	試投	成功	試投		OR	DR	TOT						
4	*	大浦 颯太	26	3	15	7	19	3	6	3	5	11	16	2	2	2	1	40:00	
5	*	三木 陸人	8	0	0	4	8	0	0	3	3	2	5	1	0	1	1	32:03	
6	*	松屋 佑季	24	2	7	8	24	2	4	2	2	9	11	3	1	1	1	38:49	
7	*	永野 聖一朗	8	0	12	4	10	0	1	5	1	0	1	5	3	2	1	39:04	
8	*	村上 直也	2	0	0	1	4	0	0	2	7	5	12	1	1	2	0	36:39	
9		山口 透	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0:57	
10		久保 雄太朗	1	0	2	0	0	1	2	3	3	1	4	1	0	1	0	12:28	
11		岡村 遊哉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP	
12		曾利 哲大	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP	
13		山崎 友樹	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP	
14		中村 真也	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP	
15		根来 弘馬	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP	
16		寺薊 航平	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP	
17		田中 大貴	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP	
18		片田 凌雅	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP	
Team / Coach			瀧口 貴夫							0	3	5	8	0					
合 計			69	5	36	24	65	6	13	19	24	33	57	13	7	9	4	200	
			RATE	13.9%		36.9%		46.2%											

主審	甲斐清	副審	望月公平	
----	-----	----	------	--



C・T・O	1・2 P		3・4 P		O・T・1	O・T・2	O・T・3	O・T・4
TeamA	:	:	28:37	34:17	:	:	:	:
TeamB	13:34	17:32	24:22	38:05	:	:	:	:

タイムアウトは経過時間に表示しています

男子決勝は広島皆実対広陵、高校総体決勝の再戦となった。広島皆実の2冠達成するか、それとも広陵が夏のリベンジを果たすか。第1P、広島皆実#5、8、12、16、17、広陵#4、5、6、7、8、両チームともハーフコートマンツーマンでゲーム開始。広島皆実是小気味よい速攻、ドライブインで得点するも#16、17が2つのファウルを侵してしまう苦しい展開。しかしながら広島皆実は#8の1対1を起点に内外バランス良く加点し、得点を積み上げていく。一方、広陵は#6、7が1対1で高い個人技を見せ、得点する。互いの長所を出し合う形となった第1Pは27対17と広島皆実が10点のリードを奪う。

第2P、両チームともにボールマンへのプレッシャーを強め、簡単に得点を許さない。重苦しいロススコアの展開が続くが、広陵は#4の1対1からチャンスをつくり、リング下の合わせのシュートなどで得点する。広島皆実は#8の3P(シュート)やスティールからの速攻で#16が得点し、このピリオドだけで15対10、前半を42対27と、そのリードを15点に拡げ前半終了。

第3P、広島皆実ハーフコートマンツーマン、広陵は3ー2ゾーンディフェンスで試合再開。広島皆実は#16、17の外からのシュートが決まりだし、流れをつかむ。広陵も粘り強いオフェンスリバウンドからチャンスをつくり、必死に食らいつく。残り3分、広陵は速い展開から#6が連続得点。流れをつかみかけると#7が痛恨のアンスポーツマンライクファウルを侵してしまい、反撃の糸口をなかなか見つけられない。広陵の激しいプレッシャーをかいくぐり、落ち着いてゲームをコントロールした広島皆実が66対46とさらにリードを20点に拡げ、第3P終了。

第4P、広陵は高い位置からゾーンディフェンスを仕掛け、果敢なドライブイン、#4の連続3P(シュート)で追いかける。一方、広島皆実も落ち着いてボールを運び、#12のレイアップや#8の3P(シュート)で流れを渡さない。広陵の激しいディフェンスをくぐり抜け、積極的な1対1を守りきった広島皆実が、終始主導権を渡さずリードを守りきり、96対69で勝利を収めた。

ファウルトラブルに見舞われながらも、#8を中心に、ベンチメンバーの活躍も含めた総合力の高さを見せつけた広島皆実が頂点に立った。一方の広陵も、高い身体能力と得点力、ボールへの執着心を随所に見せ、広陵らしさを十二分に発揮した好ゲームであった。夏以降、すべてのチームが心身ともに成長する中で、再び決勝の舞台に立ち、好プレイを見せた両校の健闘をたたえるとともに、広島島の代表として全国大会に出場する広島皆実の活躍に期待したい。

戦評	大瀬 元貴	記録	美鈴が丘
----	-------	----	------

モルテンカップ平成27年度広島県高等学校秋季バスケットボール大会 第46回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会

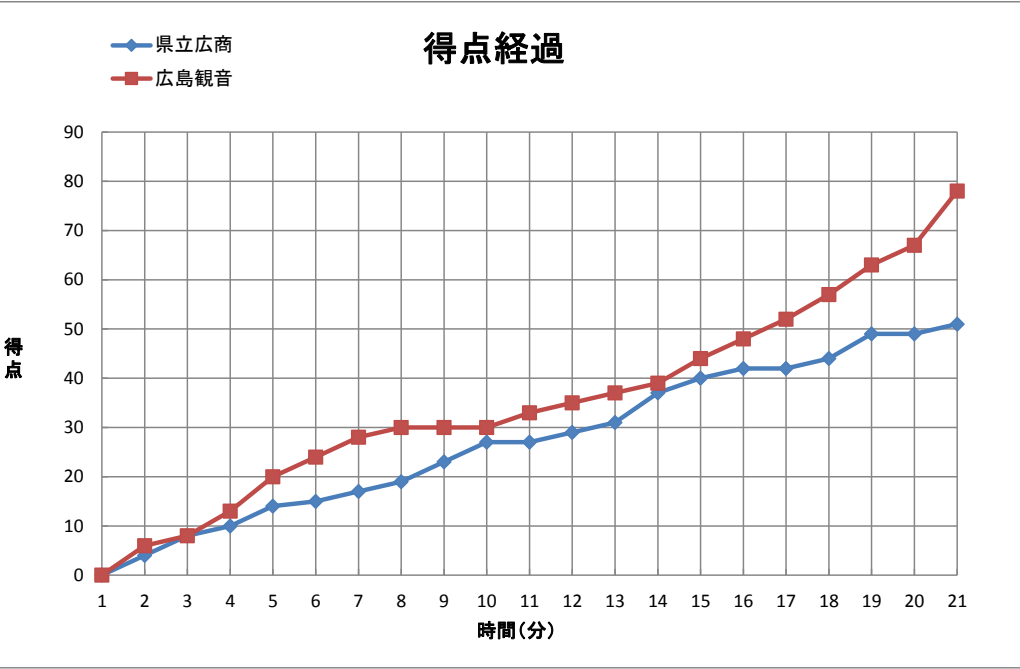
試 合 日	2015年10月24日
開始時間	12:00
会 場	広島県立総合体育館 アアリーナ
コ ー ト	0
試 合 順	1

Team A	15	-	24	Team B
	12	-	9	
県立広島	51	15	15	広島観音
	9	-	30	
(0)		-		(0)

Team A 県立広島																		
No.	S	選 手 名	PTS	3 P		2 P		F T		F	REBOUND			TO	AS	ST	BS	PT
				成功	試投	成功	試投	成功	試投		OR	DR	TOT					
4	*	木村 陽菜	21	1	10	9	24	0	0	2	4	6	10	5	8	4	1	39:06
5	*	児玉 彩奈	5	1	7	1	14	0	0	4	2	3	5	2	1	3	1	37:35
6	*	亀谷 麻巳子	6	0	3	3	5	0	0	0	3	3	6	3	5	4	0	28:01
7		大道 玲奈	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0:54
8		石井 琴奈	5	1	2	1	6	0	0	1	0	0	0	2	0	3	0	13:30
9		阿部 和	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0:00
10	*	武田 育子	10	0	6	5	10	0	0	4	5	3	8	1	0	2	2	37:43
11	*	片岡 紀里子	2	0	1	1	5	0	0	2	1	5	6	1	1	4	0	31:41
12		坂本 ゆい	2	0	0	1	2	0	0	0	4	1	5	1	0	0	0	10:36
13		児玉 優花	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
14		杉山 里桜	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
15		廣田 茉柚	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
16		鈴木 佳乃子	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0:54
17		小松 晴奈	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
18		高野 芽生	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
Team / Coach		小松 広道								0	0	0	0	0				
合 計			51	3	31	21	67	0	0	13	19	21	40	15	17	20	4	200
			RATE	9.7%		31.3%												

Team B 広島観音																		
No.	S	選 手 名	PTS	3 P		2 P		F T		F	REBOUND			TO	AS	ST	BS	PT
				成功	試投	成功	試投	成功	試投		OR	DR	TOT					
4	*	登 優雅	8	0	0	4	12	0	0	0	4	6	10	3	6	1	0	31:32
5		横尾 菜緒	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
6	*	園田 祥子	10	2	10	1	8	2	3	0	2	4	6	3	2	1	1	37:44
7	*	山田 莉々	22	0	0	7	19	8	12	2	7	16	23	6	4	0	6	39:06
8	*	飯山 佳奈	2	0	0	1	5	0	0	0	0	6	6	5	13	1	1	33:00
9		林原 菜々実	5	1	2	1	2	0	0	0	0	1	1	1	0	1	0	8:21
10		岡 桃華	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0:54
11		谷岡 優里	2	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0:54
12		立石 琴乃	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
13		脇田 珠音	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
14		福田 若葉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
15	*	小田 侑加	19	5	7	2	5	0	0	1	3	1	4	3	0	1	3	31:39
16		常川 紗希	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
17		八城 実莉	4	0	1	2	4	0	0	1	0	0	0	1	2	1	0	8:28
18		橋村 実咲希	4	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	2	4	1	0	8:22
Team / Coach			西谷 千織							0	0	0	0	0				
合 計			76	8	20	20	57	12	17	4	16	34	50	24	31	7	11	200
			RATE	40.0%		35.1%		70.6%										

主審	竹内智己	副審	皆川義紀	
----	------	----	------	--



戦評

C T O	1・2 P		3・4 P			O T 1	O T 2	O T 3	O T 4
TeamA	19:55	:	32:17	36:38	:	:	:	:	:
TeamB	13:35	:	35:15	:	:	:	:	:	:

タイムアウトは経過時間で表示しています

女子決勝戦は県立広島対広島観音、高校総体決勝と同じ顔合わせとなった。

第1P、県立広島は#4、5、6、10、11、広島観音は#4、6、7、8、15。両チームともにハーフコートマンツーマンでゲーム開始。広島観音の#6の3P(シュート)がバスケットカウントとなりゲームが動く。広島観音は高さを生かした#4、#7のリング下のシュートや#15のアウトサイドからのシュートなどインサイド、アウトサイドとバランス良く攻撃する。一方、県立広島は#4の鋭いドライブインからのシュートや、#6のミドルシュートで得点を重ねる。互いに長所を活かしたプレイを見せるが、広島観音は#8のスティールなど、県立広島の一瞬のすきを突き得点を重ね、15対24広島観音のリードで第1P終了。

第2P、県立広島は、2ー3ゾーンディフェンスとマンツーマンのチェンジングで、インサイドを徹底マーク。その結果、広島観音は4分間得点が止まる。一方、広島観音も3ー2ゾーンディフェンスで県立広島#4のドライブにすばやいヘルプで対応する。互いに守りあった第2Pは12対9、合計27対33と広島観音5点のリードで前半終了。

第3P、県立広島はオールコートマンツーマン(プレス)にディフェンスを変え、主導権を握る。広島観音にプレッシャーをかけ、残り4分で35対37と2点差に追い上げる。しかし、広島観音も#6の3Pシュートや#18のスティールなど逆転を許さず、42対48で第3P終了。

第4P、広島観音は速攻から#7にパスをつなぎ得点を狙うが、県立広島のヘルプディフェンスが働き、思うように得点できない。一方、県立広島はコートを広く使い、速いパス回しからドライブインを狙うも、高さの壁とディフェンスの早い寄りで簡単に得点できず、重苦しい展開となる。県立広島は#4の1対1で状況を打開しようとするが、ターンオーバーが続いてしまい、残り5分で57対47と点差が10点に広がる。

県立広島はオールコートディフェンスで積極的に仕掛けるも、広島観音は落ち着いてボール運び、#7のインサイドの1対1やリバウンドからの速攻で、一気に点差を広げる。県立広島は最後まで果敢にボールを追い、攻め続けたものの、勝負どころで突き放した広島観音が51対78と勝利した。

互いの得点源に対するディフェンスや高確率のアウトサイドシュートなど、高校総体以降の両チームの進化が見えたすばらしいゲームであった。広島観音高校の全国大会での活躍に期待したい。

戦評	壽 信也	記録	舟入
----	------	----	----